

【コラム】「隣のハンメ」 総務経理部 マエダ

秋になると思い出す出会いがあります。20歳の秋、韓国慶州を旅して出て会った一人のおばあさんのことです。5歳で家族と連れられ日本にやってきて、長年を日本で過ごしたハンメ（方言で、『おばあさん』を意味する）」は、祖国で暮らしていた晩年、私に日本での思い出をたくさん話してくれました。小学校に給食なんてものはなく、食糧難で皆がおなかをすかせていた時代。お母さんがやっとのことで用意して持たせてくれていたお弁当。同級生は、毎日、中に唯一のおかずとして入っていたキムチを見ては笑い、「くさいくさい」と言っただけでした。それが嫌で、お母さんには内緒でキムチを洗っていたハンメ。「食べるものがない中で入れてくれてたキムチなのに、水で洗うもんだからおいしくないのよ。それでも言われるのが嫌だから、毎日洗ってた。くやしくて、みじめでね」

ハンメのお父さんは、多くの同郷の労働者とともに建設現場で働いていました。「私のお父さんは、字が書けたし読めたけど、一緒に働いている人は、読み書きできない人が多くてね。仕事が終わったあとにうちの家にやってきて、国に残してきた家族から来た手紙を読んでもらったり、出す手紙を書いてもらったりしてたんだよね。みんなボロボロ涙をこぼして泣くのよ、大きな男がね。家族や故郷のことを思って、『会いたい、帰りたい』ってね」

「先生も（日本人でない私には）みんな意地悪するの。でも、私が走るのが速いって、いつもすごくほめてくれる先生がいてね。『才能がある。おまえならできる。一番になれ』っていつも言ってくれてたのよ。その先生がいたから『負けるもんか』って思ってたね」

「私、『日本人になれ』って言われて、名前まで変えられて、『愛子』で名前にさせられてた。それなのに、『日本人じゃないだろ』って言って、みんながいじめるのよ」日本で受けた仕打ちをそう振り返りながら、それでもハンメは私にどこまでもやさしかったのです。

「おなかですいただろうからたくさん食べろ」とごはんをよそい、「疲れただろうからもう休め」と布団を出し、「もう帰るのか、またいつでも来い」そう言って送り出してくれるハンメの温かさに甘えたくて、私は幾度もハンメのもとを訪れました。「子どもたちは、日本のあちこちに住んでるんだよね、一番上の一人だけは、軍事境界線の向こうにいる。会いたいよ」願いを叶えられないまま、遠くへ旅立ってしまったハンメ。

「憎んだらダメ。憎しみからは何も生まれないのよ」そう教えてくれたハンメ。ハンメは、「されたことは、忘れない。忘れようと思っても忘れられないのよ」と言っていました。その言葉を聞いて、「第二のハンメを作り出してしまったと後悔するような生き方はしたくない」そう記した20歳の私。その約束を私は守れているのでしょうか。守ろうとしてきたのでしょうか。

人事情報



小波津 実桜	2023年3月15日	入社	学童保育部(パート職員)
川西 めいこ	2023年3月31日	退職	学童保育部(パート職員)
溝渕 麻里子	2023年3月31日	退職	学童保育部(パート職員)
柴田 みゆき	2024年3月31日	退職	学童保育部(パート職員)
奥田 颯馬	2024年3月31日	退職	グループホーム部(登録ヘルパー)
坂口 天音	2024年4月1日	入社	学童保育部(パート職員)
笠場 彩葵	2024年4月1日	入社	総務経理部
伊勢 菜砂	2024年4月1日	入社	学童保育部(パート職員)
米田 誠	2024年5月1日	入社	グループホーム部(パート職員)
上田 真梨子	2024年4月30日	退職	就労支援部／グループホーム部(パート職員)
奥田 莉奈	2024年6月18日	退職	総務経理部
小田 愛	2024年6月20日	入社	学童保育部(パート職員)
原 智代子	2024年6月24日	入社	学童保育部(パート職員)
安藤 秀幸	2024年6月14日	退職	就労支援部(パート職員)
幾久 友理子	2024年8月19日	入社	学童保育部(パート職員)



AUTUMN

地域で働く 地域で暮らす あたりまえに その人らしく

NPO法人 サニーサイド

Sunny side 通信



146
2024
夏号



「水鉄砲大会」 学童保育部 北林

8月、高学年の子どもたちが主体となって企画した「水鉄砲大会」が行われました。自分たちで日程を決め、お知らせの紙を書き、自らの手で進めていきました。7月の朝の話し合いタイムで、「みんなで水鉄砲をやりたい」という提案が出たときから、準備を進めました。

当日、おうちから水鉄砲を持ってきたので、みんなでシェアして楽しむことができました。ご協力ありがとうございました。水鉄砲大会を始める前には、参加者全員でルールを話し合い、「遊びに夢中になりすぎて、きつい言葉を言わない」など、みんなが楽しく過ごせるように決めました。お祭りで使うボイを応用して、「ティッシュが濡れて破れたら負け」というオリジナルのルールを考え出し、子どもたちはそのルールに基づいて大会を進行しました。

水鉄砲は2時間ほど行い、楽しそうにされていました。

その姿から、このように、自分で企画し、やり遂げたという経験は、もしかすると、大きな自信となるかもしれないな、と感じました。

児童ホームつくしでは、豊かな放課後づくりを通じて、「自立と共生」の感覚を育てたと考えています。今回の水鉄砲大会は、自らの「やりたい」を出したことで、自分たちで準備したこと、気持ちよく当日を過ごすために話し合ったこと、楽しい時間を過ごせたこと、いやだったことをお友達に伝えること、やり切ったことなど、企画を通して、様々な大切なことと向き合えた時間でした。

このようなプロセスを歩めたのも、おうちの方の温かいご協力や支えのおかげであります。改めて、ありがとうございます。



レオーラ写真館



▲ちんどん ゆるえん祭



シャボン玉



▲イチゴお絵描き



▲Yさんと桜



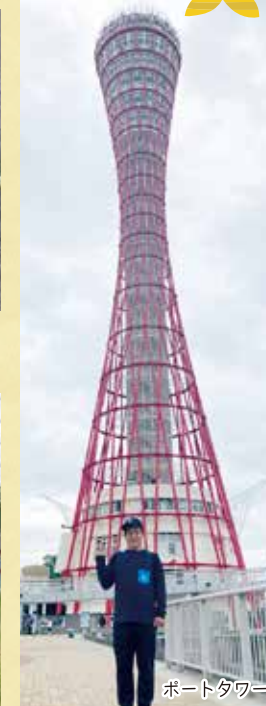
▲スイカにかぶりつき



▲舞台俳優



▲Iさんと汽車



ポードタワー

「鳥羽へ旅行へ行ってきました」 就労支援事業部 田中&生田

パルケ・エスパーニャ.....
旅行1日目。晴天にも恵まれ、まさに旅行日和でした！恵まれすぎての、この暑さはまさに「情熱の国、スペイン！」といったところですが、アトラクションでは急落下や水がはねて「ひやり！」キャラクターたちに会えたり、再現された歴史的建造物を楽しんだりすることができました！



旅館.....
なんとといっても旅行の楽しみは旅館。すでに日が暮れていた到着時、パルケ・エスパーニャで遊び疲れたカラダをお風呂とご飯がお出迎えしてくれました！ご飯は御膳になっていて、炊き込みご飯、名産の豚肉のお鍋、魚介類のお刺身に舌鼓。じっくり味わわれる方、お箸がとまらない方、「これ美味し〜！」と感嘆の声が漏れていました。

普段なかなかできない大人数でのお晩酌、アルコールが苦手な方はソフトドリンクで「カンパ〜イ！」スマートドリンク、良い文化です。長年のお付き合いの方や出会って1年くらいの方も「どうぞどうぞ」「いえいえ」は見ている方もほっこりでした。

楽しい宴会のあとは、お部屋へ。ぐっすりの方、中々眠れない方、まだまだ寝たくない方、お部屋ごとの夜が更けていきました…。朝、カーテンを開けると目の前には雄大な海！綺麗な景色に朝から感動でした！お着替えを済ませて、みなさんお待ちかねの朝食バイキング。あれも食べたい！これも食べたい！と、こぼれる笑顔でチョイスされていました。洋食はパンやオムレツ、サラダ、コーンフ레이크などなど。和食は味噌汁やひじき等の副菜などなど。そして人気だったのが、なんと自分の席で焼く干物です。生焼けが心配

になるほど、ソワソワ。焼けるのが待ち遠しいご様子でした。

いれたてのコーヒーで食後のほっこりタイムを終える、と、名残惜しいですが、旅館を発つ時間です。見送ってください1日お世話になった旅館の方々に「さよーならー！」「ありがとうございましたー！！」と車の窓から手を振りながら、ご挨拶。次の目的地は鳥羽水族館、楽しみはまだまだ続きます！



鳥羽水族館

旅行2日目。飼育種類日本一！の鳥羽水族館に行きました！人気はやはりアシカショー、ニコニコ笑顔が溢れます。あたり一面、まるで海の中にいるかのような空間では、びっくりするほど大きなお魚さんも。息を呑むほど幻想的でした。「うわあ、おっきいな！」「あっちにもいる！」と盛り上がりしました。

アザラシさんや、ペンギンさんのコーナーでは「かわい〜」と一行ギューギューになって、みんなで癒されました！

お土産コーナーで、かわいいぬいぐるみも発見でき、水族館を大満喫できました！

最後の食事は、なんと！海に見えるフェリー乗り場で、お鍋つきの豪華なお弁当御膳です！朝のバイキングで、あんなにたくさん食べたのに、やはり美味しいものは、いくらでも食べたくなってしまうです！みなさん、花より団子よろしく、海より食事！最後まで美味しい旅行になりました！



今回の旅行で感じたこと

まず、お怪我なく全員無事に帰ってきたことを本当に嬉しく思います。旅行中、普段あまりお話しされない方が行く先々で熱量ある会話をされていたことや、旅行が終わったあとも「あれ(アトラクション)乗ったで！」「〇〇見たんやで！」と話されているのお聞きすると、本当に楽しい空間だったのだと実感いたしました。旅行のご準備でご家族様にも大変助けていただきました。本当にありがとうございました。

やっぱり、みんなで楽しむって素敵だ！と、共に過ごす大切さを再認識できた2日間でした。



「ピープルファーストでボール遊び」はまね

Yさんのピープルファースト兵庫（知的障害者当事者の会）「ボール遊びの会」の報告文です。

1月のピープルファースト例会での「ボール遊びがしたいです！」とのYさんの願いが実現しました。7月28日のことでした。

車いすの方も参加できる会場を探しに小田体育館まで訪ねていったYさんでしたが、借りられませんでした。炎天下しかないのかとあきらめかけましたが、その彼の苦勞が報われ、地域の学校開放委員さんのご協力もあり、園和小学校の体育館をお借りすることができました。

神戸、川西の仲間たち、サニーサイドの職員、メンバーさんもたくさん参加してくれました。

体育館では、涼しくなるようにと入れてくださったスポット冷房でブレーカーが落ちたりとドタバタもありましたが、とても盛り上がりしました。ありがとうございました。



Y
クマシバの
月したツク
28日の人せ
A. ボンビー
(日)もハートバ
ッルバー
とトのし
カボのボー
リルを
たのシ
がッス
たカ
ま